

凡 例

1. 用字用語については、原則として常用漢字、現代かなづかいを用いることとしたが、専門用語、慣用語などについては、これによらないものもある。
2. 引用文については次のとおりとした。
 - (1) 用字用語等は原本のままとしたが、字体は新字体を使用し、また適宜句読点・濁点・半濁点を付した。なお仮名の繰返し符号は仮名に改めた。
 - (2) 引用文中明白な誤植と思われるものはすぐ上に〔ママ〕と付記した。
 - (3) 引用者の注記は〔 〕内に記載した。
 - (4) 省略は……または〔中略〕で示した。
3. 引用文献、参考文献の注記は次の例によった。
 - (1) 単行本は、著者名『書名』出版社、発行年、引用ページの要領で記載した。欧文の書名はイタリックで示した。
 - (2) 全集本は、単行本に準じ記載し、巻名を書名の次に掲げた。
 - (3) 雑誌論文は、筆者名「論文名」(『雑誌名』通巻番号、発行年月) 引用ページの要領で記載した。
 - (4) 資料集掲載の資料は、著者名「資料名」(編者名『資料集名』巻名、出版社、発行年、所収) 引用ページの要領で記載した。
 - (5) 同じ節〔1. 2. 3. ……で表示の見出し〕中で再出の引用文献は、前掲『書名』巻名〔または「論文名」、「資料名」〕、引用ページの要領で記載した。
4. 人名の敬称は現存者を含めすべて省略した。
5. 数字はアラビア数字を用い、億・万の単位を使用した。単位未満の端数は四捨五入した。
6. 暦年は原則としてわが国の年号によった。西暦との並記は各項〔(1)(2)(3)……で表示の見出し〕中初めて出た年に限った。
7. 法令の日付は原則として公布年月日を掲げた。